

2006年11月13日

(株)テクノ・システム・リサーチ

URL www.t-s-r.co.jp

東京都千代田区岩本町 2-1-3

代表取締役社長 藤田 正雄

2006年国内主要ソフトウェア市場は、6,409億3,370万円となる見込み。
企業のコンプライアンス対策の影響が大。

調査概要

(株)テクノ・システム・リサーチでは、2006年9月に企画資料「2006年ソフトウェアマーケティング総覧」を刊行しました(調査期間は、2006年4月～9月)。

国内主要ビジネス向けパッケージソフトウェア市場(ベンダー出荷ベース。ソフトウェア・ライセンス売上)につき、2005年の実績、および2006年～2008年までの予測を取りまとめました。

2005年の国内主要ビジネス向けパッケージソフトウェアの売上規模(実売データ)は、6,078億4,490万円となりました。内訳は、サーバー版ソフトウェアが、5,478億6,920万円、スタンドアローン版が599億7,570万円である。主に、コンプライアンス対策需要の増加により、2006年は、前年比で105.4%程度成長し、6,409億3,370万円まで成長すると見込まれます。

本調査報告書では、国内主要ビジネス向けパッケージソフトウェア市場を30程度のカテゴリーに分類し、2005年～2008年までの市場成長率を算出しました。

業務系ソフトウェアは、e文書法、個人情報保護法などの施行によるコミュニケーション・文書管理関連の需要が高まったこと、および、J-SOX法などコンプライアンス対策として、ワークフロー、ERPなどの市場の伸びたことが2005年～2006年のソフトウェア市場全体の成長を牽引する要因となっています。

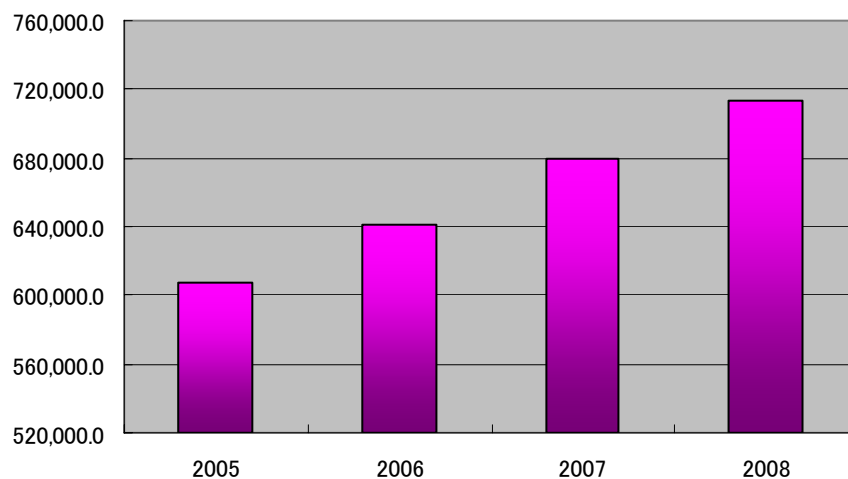
業種別ソフトウェアでは、PDM/PLMを中心とした製造業ソフトウェア、医療分野ソフトウェアが市場を牽引しています。

調査対象カテゴリーは、「業務系ソフトウェア市場」、「業種別ソフトウェア市場」に大別しており、各カテゴリーをサーバー版ソフトウェア、スタンドアローン版ソフトウェアご

とに取りまとめたデータを掲載しました¹。

国内主要ソフトウェア市場規模推移、見通し(2005年～2008年)

(単位/百万円)



(株)テクノ・システム・リサーチ調べ

お問い合わせ

※プレスのお問い合わせは、こちらまでお願いします。

(株)テクノ・システム・リサーチ

第二グループ

アシスタント・ディレクター 内藤 浩之

電話 03-3866-4505

電子メール naitou@t-s-r.co.jp

¹、「業務ソフトウェア市場」は、CRM、ERP、SCM、コミュニケーション・文書管理、ミドルウェア・その他の市場を対象としました。他方、「業種別ソフトウェア市場」は、製造業(生産管理/FA)、製造業(PDM/PLM)、流通業、金融業、公共(フロント系)、公共(バックエンド)、医療の7分野を対象としました。